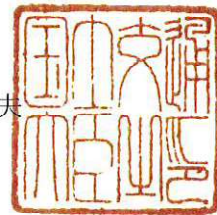


認 定 書

国住参建第 4217 号
令和 5 年 2 月 28 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0949-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁耐火構造
／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ70mm以下)
	面積	0.00385m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		3～10mmかつ、図1に示す配置
占積率		67.4%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、 FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、 FP060NP-0233、FP060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、 FP060NP-0345、FP060NP-0360、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、 FP060NP-0427(1)、FP060NP-0427(2)、FP060NP-0441(1)、 FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454、FP060NP-0487) 厚さ 42mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・配管等の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：1mm以上 幅：50mm以上(埋設部42mm以上) ただし、裏面材は露出部側に10mm以下伸ばしてもよい
		使用箇所	配管等に1周+10mm以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	仕様	仕様：あり又はなし ①～③の一
		材料	①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ
	シート	厚さ	0.3(±0.15)mm以下
		材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	1mm以上
		密度	
		組成 (質量%)	
	裏面材 (配管側)	仕様	仕様：あり又はなし ①～③の一
		材料	①ポリオレフィン系ーポリエステル系積層フィルム ②ポリエステル系フィルム ③ナイロン系フィルム
充てん材		厚さ	0.05(±0.03)mm以下
		材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系
		充てん量	隙間を密に充てん(壁表面から42mm以上)

表3 ケーブル・配管等の仕様

項 目	仕 様				
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり	1. 25mm ² 以下		
		総合計	3. 75mm ² 以下(銅等の金属類)		
	総有機量	0. 005kg/m以下			
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質			
	絶縁体	ポリエチレン系	厚 さ	0. 5mm以下	
		塩化ビニル系			
ポリオレフィン系					
合成ゴム					
配管 (給水管・ 排水管)	架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769、JIS K 6787、JXPA401(架橋ポリエチレン管工業会規格)又はこれらの規格に適合した性能(引張降伏強さ、耐圧塩素水性、ゲル分率)を有する管)	外 径	φ 13. 0mm以下(2本)	厚 さ	1. 6mm以下
被覆材	発泡ポリエチレン系	寸 法	円形被覆と楕円被覆組合せの場合 円形： 外径φ 19mm以下 (仕上り外径) 楕円形： 50×31mm以下 楕円形の場合 45. 5×37. 5mm以下	厚 さ	円形被覆と楕円被覆組合せの場合 円形： 3mm以下 楕円形： 6mm以下 楕円形の場合： 9mm以下
	発泡架橋ポリエチレン系				
	発泡ポリウレタン系				
	発泡ポリスチレン系				
	発泡ポリプロピレン系				
	発泡フェノール系				
	発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)				
	グラスウール(JIS A 9504)				
	ロックウール(JIS A 9504)				
	発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム)				
使用方法	配管に用いる				
ラッピング	材料	仕様：あり又はなし アルミニウム箔貼ポリオレフィンフィルム			
	厚さ	0. 03mm以下			
	使用方法	必要に応じて、被覆材内に挿入される配管を複数本束ねその周囲に巻き付ける			

構造説明図を図1及び図2に示す。

Figure 1 is a cross-sectional view of a cable joint. The diagram shows a central cable (ケーブル(電線)) surrounded by a sheath (被覆材). The sheath is covered by a lap material (ラッピング材) and a heat-shrinkable sheet (熱膨張性シート). The joint is secured with a wall (壁). Dimensions are indicated: 3~10 for the lap material thickness, 35以下 for the sheath thickness, and 70以下 for the total diameter (開口寸法). The section is labeled A部.

熱膨張性シート

被覆付配管

10以上

A部詳細図

熱膨張性シート

壁

ラッピング材
(あり又はなし)

被覆材

配管

ケーブル(電線)

充てん材

32.25以下

32.25以下

32.25以下

3~10

3~10

65.5以下
(開口寸法)

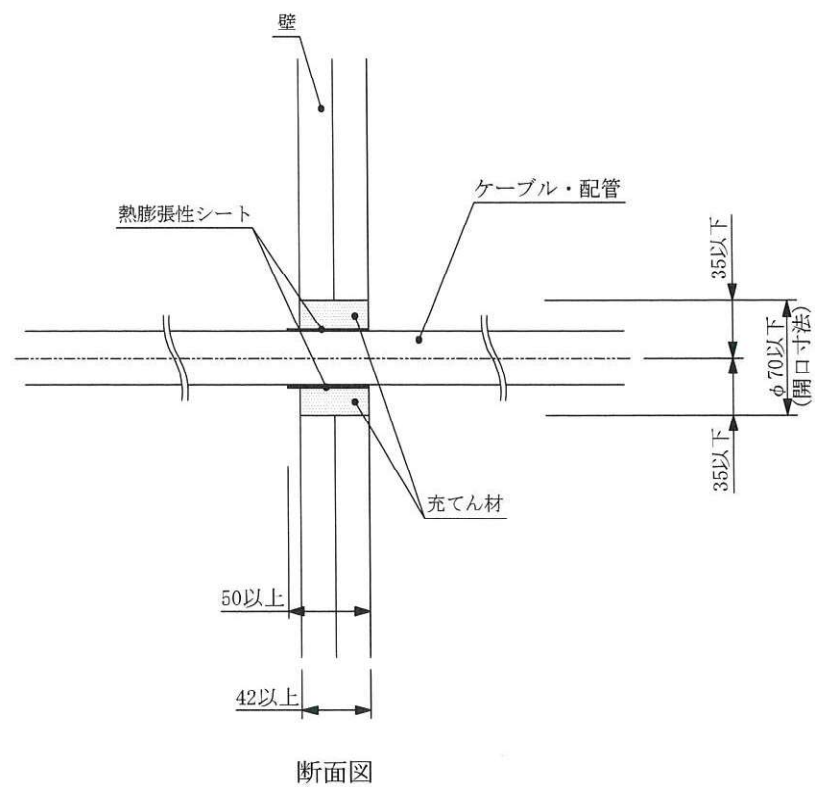
A部

立面図

注) ケーブル・配管の配置の一例を示す

- 4 -

單位 mm



注) ケーブル・配管の配置の一例を示す

図2 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。
- (2) ケーブル・配管の設置
ケーブル・配管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部に、ケーブル・配管を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを配管等に対して1周+10mm以上巻き付けて裏面材を破りシート部を張付けて固定する。この時、熱膨張性シートと配管等との間に隙間がないように注意し確認する。
※ただし、裏面材を破らない場合は養生テープ、ビニルテープ等で固定する。
- (4) 熱膨張性シートのスライド
熱膨張性シートを配管等に沿わせて熱膨張性シートの先端が壁面と同一面になるようにスライドさせる。
- (5) 埋め戻し
貫通開口部と熱膨張性シートの隙間に、壁厚方向42mm以上充てん材で埋め戻しする。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。